

すみのエトピックス

令和5年度 第2回 住之江区区政会議を開催しました!

- ・住之江区区政会議は、3つの「部会」と委員全員参加の「全体会」で構成されています。
- ・各部会を10月5日(備える部会)、10日(育む部会)、13日(愛しむ部会)に開催し、全体会を11月17日に開催しました。
- ・今回の区政会議では、「令和5年度住之江区運営方針の進捗状況と今後の方向性」についてご意見をいただきました。



詳しい会議内容は
こちら



令和5年度 住之江区
運営方針はこちら

育む部会(経営課題1)



10月10日の部会の様子

委員からのご意見

フィンランド発祥のネウボラのように、妊娠から出産・子育てを含め一生を通じて、人と人が関わりを持つ仕組みづくりが大事だと思う。

区役所より

大阪市では、大阪市版ネウボラの取組を平成31年度から開始しています。医療機関での受診や保健師の人事異動があるなど違いはありますが、最初に関わる地域の担当保健師を覚えていただき、気軽に相談していただけるよう、区広報紙に地域の保健師の名前を載せて周知しています。

愛しむ部会(経営課題2)



10月13日の部会の様子

委員からのご意見

スマホを持っているが使い方がわからない高齢者が多い。スマホ教室等も実施されているが、希望者が身近で気軽に参加できることが有効であると思う。

区役所より

住之江区では、国や大阪府の事業を活用したスマホ教室や、各地域活動協議会と連携し、ふれあい喫茶の開催時に「スマホちょこっと相談」を実施しています。今後も、様々な機会を捉えて、身近で気軽に参加いただけるよう取り組んでまいります。

備える部会(経営課題3)



10月5日の部会の様子

委員からのご意見

地域防災に関わる人たちの高齢化が課題と感じているので、若い人たちにも取り組んでもらう工夫が必要だと思う。

委員からのご意見

空き巣の経験談を近隣で共有することで、防犯対策が進んだ事例もあったので、近所づき合いは犯罪抑止に非常に効果的であると思う。



他にもたくさんのご意見をいただきました

多様な意見が取組に反映されるよう、色々な方に区政会議に参加いただいてはどうか。

地域活動協議会でHP等のICTをさらに活用できるように、ICTに強い若い人に協力してもらえればいいのか。



11月17日の全体会の様子



問合せ 区総務課(ICT・企画) 窓口④番
☎06-6682-9909

防災 災害発生時には、命を守る行動を

平成7年(1995年)1月17日5時46分に発生した阪神・淡路大震災から29年が経ちました。阪神・淡路大震災を経験していない世代の人たちも増えてきています。過去の災害に学び、命を守る行動につなげましょう。

※阪神・淡路大震災では、地震による生き埋めや閉じ込めになった際、約95%の方が家族や近所の方によって救出されました。

地震発生



①身を守る行動をとりましょう

- ・落ち着いて家具や棚などの下敷きにならないように、丈夫な机やテーブルの下にもぐるなどして身を守る行動をとりましょう。
- ・火元の確認をしましょう。
- ・ドアや窓を開けて、避難経路を確保しましょう。
- ※近年の地震による負傷者のうち3～5割は家具等の転倒・落下によるものが原因です。事前に転倒防止の対策をしておきましょう。



②身の回りや隣近所の方の安全を確認しましょう

- ・まずは自宅が安全か確認し、安全であれば、在宅避難を選択しましょう。
- ・在宅避難ができず、別の場所に避難する際は、必ず**非常持出袋**を忘れないようにしましょう。
- ・一人暮らしの高齢者の方や外国人の方などがある世帯には積極的に声をかけ、安否確認をしましょう。



③災害の情報を収集し避難しましょう

- ・『大阪市防災アプリ』などの情報媒体を活用し、災害の情報を収集しましょう。
- ※『大阪市防災アプリ』は、オフラインでも災害関係のマップを見ることができます。
- ※避難経路等を事前に確認し、自身の避難計画を立てておきましょう。
- また、『在宅避難』ができるよう備えておきましょう。
- ※防災マップや避難カード等は区役所でもお渡しすることができます。詳しくは区役所4階④番窓口へお越しください。



大阪市
防災アプリ



住之江区
防災マップ



地震被害想定



避難カード



住之江区役所
YouTube



避難先の
判断方法



広報『さざんか』
6月号(水害)



広報『さざんか』
9月号(備える防災)



問合せ 区協働まちづくり課(防災) 窓口④番
☎06-6682-9974